

## 就職列車に乗った



小原ひろ子さん  
(長崎・56歳)

昭和40年3月、船越中学校卒業と同時に集団就職のため、陸中山田駅で就職列車に乗りました。駅には母や同級生が見送りに来てくれました。中学を卒業したばかりで親と離れるのはつらかったです。ベルが鳴り列車が動き出したとたん涙が出てきて、窓から身を乗り出して「かあさん」と叫んだのを憶えています。釜石、花巻経由で列車に揺られて上京しましたが、列車の中は静まり返っていました。上野駅に着いて外に出ると、旗を持った各企業の担当者が立っていて、この時もう学生ではないことを実感しました。NEC相模原工場で、電話交換機の配線部品の組み立て作業をしましたが、船越中学校の女子の同級生4人も同じ工場に働いていたので心強かったです。都合により3年半働いて山田に帰ってきましたが、集団就職をともにした高知と栃木に住む2人の同級生とは今でも連絡を取り合う中で、心の支えにもなっています。



就職列車 (昭和40年、陸中山田駅)  
＝元山田町在住・及川寿郎さん撮影＝

昭和40年～44年



市日の風景 (昭和44年、八幡町)



豊間根中学校で開かれた馬力大会 (昭和41年)



▲岩手国体キャラバン隊が来町 (昭和44年)

## 主な出来事

元号 (西暦)	主なできごと
昭和40年 (1965)	1月 県立山田病院が完成 7月 山田・船越・織笠・大沢の4中学校が統合し、山田中学校に。各校舎の名称が変更
昭和41年 (1966)	11月 白石児童館が完成 3月 山田統合中学校第1期工事が完成 8月 豊間根保育園を開設
昭和42年 (1967)	11月 国民宿舎タブの木荘がオープン 3月 山田統合中学校第2期工事が完成 9月 山田漁連魚市場が落成 12月 山田中学校新校舎へ移転
昭和43年 (1968)	5月 十勝沖地震津波で本町の被害総額5億2,000万円 6月 町立図書館がオープン
昭和44年 (1969)	1月 関口児童館が完成 3月 国道45号織笠大橋が完成開通 誘致企業第1号のサンヨーソーイングが操業開始

織笠大橋渡り初め  
(昭和44年)



第10回山田町畜産共進会肥育牛の部  
(昭和41年、豊間根)



▲田の浜婦人消防隊を結成 (昭和40年)



▲山田中学校織笠校舎閉校記念部落運動会 (昭和42年)

## 町内4中学校が統合

昭和四十年七月一日、大沢、山田、織笠、船越の四中学校が統合し、町立山田中学校が誕生しました。  
山田中学校の統合については、昭和三十八年八月に山田統合中学校促進委員会が発足。四十年四月には同委員会が町長に統合中学校設置について答申しました。翌五月に町議会で四中学校の統合を議決。六月に各校で閉校式が執り行われ、二十年の歴史に幕を閉じました。  
新しい校舎が建設されるまでは、廃止された中学校の校舎を引き続き使用。それぞれの校舎

の名称は、山田中学校山田校舎、船越校舎、織笠校舎、大沢校舎、外山校舎と改称されました。  
七月一日、統合して誕生した山田中学校の開校式は山田校舎で行われ、全校生徒千五百九十八人、PTA関係者など来賓五十人が出席。当初、式の会場は校庭の予定でしたが、あいにくの雨のため、講堂で二回に分けて行われました。  
新校舎の建設工事は四十一年に着工。第三期工事で本校舎が完成するとともに新校舎に移転し、実質統合されたのは四十二年十二月二十五日でした。